



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月4日

上場会社名 セコム上信越株式会社
 コード番号 4342
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

URL <https://www.secom-joshinetsu.co.jp/>

(氏名) 山中 善紀
 (氏名) 曾我部 貢作 (TEL) 025-281-5011
 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	18,127	△0.6	3,417	2.5	3,530	2.3	2,344	5.6
2020年3月期第3四半期	18,232	0.9	3,335	△0.8	3,450	0.4	2,220	△4.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,571百万円(7.2%) 2020年3月期第3四半期 2,398百万円(14.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	182.24	—
2020年3月期第3四半期	175.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	54,255	47,658	86.8
2020年3月期	52,793	46,323	86.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 47,090百万円 2020年3月期 45,776百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	45.00	—	50.00	95.00
2021年3月期	—	45.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	50.00	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,659	1.2	4,357	△2.4	4,462	△2.2	2,970	6.3	230.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期3Q	13,109,501株	2020年3月期	13,109,501株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年3月期3Q	244,640株	2020年3月期	244,602株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期3Q	12,864,865株	2020年3月期3Q	12,662,473株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(追加情報)	P. 8
3. その他	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業収益が減少しており、依然として厳しい状況が続きましたが、個人消費において一部で持ち直しの動きも見られました。引き続き国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動などの影響に留意が必要であり、先行きは不透明な状況にあります。

このような経済情勢の中、安全・安心に対する社会的ニーズは、ますます多様化・高度化しており、当社グループは、“いつでも、どこでも、誰もが「安全・安心・快適・便利」に暮らせる社会”を実現する「社会システム産業」の構築を目指し、質の高いサービスを提供することにより、業績向上に努めてまいりました。また、当社グループでは新型コロナウイルス感染症に対して、引き続き出勤前の検温やマスクの着用、手洗い励行、アルコール消毒といった就業時の対応を行うことで感染拡大防止を図り、サービスの提供に努めました。

[受注実績]

当第3四半期連結会計期間末現在実施中の主な部門別契約件数は次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間末 (2020年12月31日)	
	件数(件)	前年同四半期比(%)
[セキュリティ事業]		
セントラライズドシステム部門	93,642	2.1
常駐システム部門	268	△1.8
現金護送システム部門	2,048	△0.8
合計	95,958	2.0

[販売実績]

当第3四半期連結累計期間の部門別販売実績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)			
	金額	構成比(%)	前年同四半期比	前年同四半期比(%)
[セキュリティ事業]	[17,961]	[99.1]	[△92]	[△0.5]
セントラライズドシステム部門	12,101	66.8	86	0.7
常駐システム部門	3,299	18.2	△173	△5.0
現金護送システム部門	802	4.4	△44	△5.2
安全商品売上部門	1,758	9.7	38	2.2
[その他の事業]	[165]	[0.9]	[△12]	[△7.2]
メディカル事業部門	150	0.8	15	11.6
一般電気工事・建築事業部門	15	0.1	△28	△65.0
合計	18,127	100.0	△105	△0.6

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。

セキュリティ事業では、セントラライズドシステム部門において、事業所向け・家庭向けのオンライン・セキュリティシステムの契約件数が順調に増加したほか、安全商品売上部門において、感染防止対策として検温が可能なサーマルカメラの販売が好調だったものの、常駐システム部門において、新型コロナウイルス感染症の影響による大型イベントなどの自粛で臨時警備の受注が減少したことなどにより、前年同四半期比 92百万円(0.5%)減収の 17,961百万円となりました。

また、その他の事業は、一般電気工事・建築事業部門が減収となったことなどにより、前年同四半期比 12百万円(7.2%)減収の 165百万円となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比 105百万円(0.6%)減収の 18,127百万円となりました。営業利益は感染防止対策を講じながら企業活動を行う一方で、第1四半期の売上原価や販売費及び一般管理費の抑制が引き続き影響していることなどにより、前年同四半期比 81百万円(2.5%)増益の 3,417百万円となりました。経常利益は前年同四半期比 80百万円(2.3%)増益の 3,530百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に特別損失で投資有価証券評価損 170百万円を計上したことなどにより、前年同四半期比 124百万円(5.6%)増益の 2,344百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[財政状態の変動状況]

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2020年12月31日)	増減
総資産(百万円)	52,793	54,255	1,461
負債(百万円)	6,470	6,596	126
純資産(百万円)	46,323	47,658	1,335
自己資本比率(%)	86.7	86.8	—

総資産は、前連結会計年度末に比べて 1,461百万円(2.8%)増加し 54,255百万円となりました。主な増加要因は、現金及び預金 749百万円及び現金護送業務用現金及び預金 281百万円並びに投資有価証券 255百万円です。

負債は、前連結会計年度末に比べて 126百万円(1.9%)増加し 6,596百万円となりました。主な増加要因は、現金護送業務用預り金 281百万円及びその他の流動負債 252百万円であり、主な減少要因は、賞与引当金 404百万円です。

純資産は、前連結会計年度末に比べて 1,335百万円(2.9%)増加し 47,658百万円となりました。主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益 2,344百万円であり、主な減少要因は、前期末配当金 643百万円及び当期中間配当金 578百万円です。

以上の結果、自己資本比率は、86.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しについては、新型コロナウイルス感染症の拡大など不透明な状況が予想されますが、2021年3月期の連結業績予想は、2020年5月11日発表時の公表値から変更していません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、今後様々な要因により実際の業績が予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,337	19,087
現金護送業務用現金及び預金	909	1,191
受取手形及び売掛金	403	403
未収契約料	1,145	1,183
たな卸資産	68	57
短期貸付金	17,300	17,400
その他	861	808
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	39,022	40,128
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,727	4,627
減価償却累計額	△3,033	△2,566
建物及び構築物(純額)	1,694	2,060
機械装置及び運搬具	209	195
減価償却累計額	△134	△125
機械装置及び運搬具(純額)	74	69
警報機器及び設備	17,570	17,766
減価償却累計額	△14,212	△14,354
警報機器及び設備(純額)	3,358	3,411
工具、器具及び備品	505	524
減価償却累計額	△352	△355
工具、器具及び備品(純額)	153	169
土地	3,145	3,128
建設仮勘定	385	102
有形固定資産合計	8,810	8,941
無形固定資産		
ソフトウェア	41	35
その他	0	0
無形固定資産合計	41	35
投資その他の資産		
投資有価証券	2,220	2,476
長期前払費用	951	893
退職給付に係る資産	1,411	1,499
繰延税金資産	210	161
保険積立金	22	23
その他	117	110
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	4,918	5,149
固定資産合計	13,770	14,127
資産合計	52,793	54,255

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	127	137
未払金	751	913
設備関係未払金	267	202
未払法人税等	672	320
未払消費税等	335	347
未払費用	105	88
現金護送業務用預り金	909	1,191
前受契約料	1,275	1,298
賞与引当金	534	129
その他	186	439
流動負債合計	5,166	5,067
固定負債		
長期末払金	21	20
長期預り保証金	1,043	1,039
繰延税金負債	51	290
退職給付に係る負債	149	142
その他	39	36
固定負債合計	1,304	1,529
負債合計	6,470	6,596
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,530	3,530
資本剰余金	3,402	3,402
利益剰余金	39,678	40,800
自己株式	△873	△873
株主資本合計	45,737	46,859
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	179
退職給付に係る調整累計額	33	51
その他の包括利益累計額合計	39	231
非支配株主持分	546	568
純資産合計	46,323	47,658
負債純資産合計	52,793	54,255

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	18,232	18,127
売上原価	11,414	11,242
売上総利益	6,818	6,884
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	55	46
役員報酬	124	118
従業員給料及び手当	1,349	1,357
従業員賞与	328	319
賞与引当金繰入額	39	38
退職給付費用	34	48
法定福利費	278	281
賃借料	166	162
減価償却費	81	90
貸倒引当金繰入額	△0	△0
業務提携契約料	267	269
業務委託費	191	200
その他	565	534
販売費及び一般管理費合計	3,482	3,467
営業利益	3,335	3,417
営業外収益		
受取利息	35	36
受取配当金	61	62
受取賃貸料	11	11
その他	63	67
営業外収益合計	172	178
営業外費用		
支払利息	1	1
固定資産除売却損	24	27
長期前払費用一時償却額	21	24
その他	10	12
営業外費用合計	57	65
経常利益	3,450	3,530
特別損失		
解体撤去費用	-	56
固定資産除売却損	2	20
投資有価証券評価損	170	-
特別損失合計	173	76
税金等調整前四半期純利益	3,277	3,453
法人税、住民税及び事業税	921	870
法人税等調整額	95	203
法人税等合計	1,016	1,073
四半期純利益	2,260	2,379
非支配株主に帰属する四半期純利益	39	35
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,220	2,344

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,260	2,379
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	140	174
退職給付に係る調整額	△2	17
その他の包括利益合計	138	191
四半期包括利益	2,398	2,571
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,358	2,536
非支配株主に係る四半期包括利益	39	35

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

3. その他

(公正取引委員会による立ち入り検査について)

当社は、2020年9月30日、群馬県に所在する官公庁等が発注する機械警備業務の入札等に関して、独占禁止法違反の疑いがあるとして、公正取引委員会の立ち入り検査を受けました。

当社といたしましては、公正取引委員会の検査に全面的に協力してまいります。